

報告事項エ

令和3年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について

令和3年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査結果（得点状況等）について、別紙のとおり報告します。

令和3年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和 3 年度 鳥 取 県 立 高 等 学 校  
入 学 者 選 抜 学 力 検 査 に お け る 得 点 状 況

鳥 取 県 教 育 委 員 会

## 令和3年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

### 1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4

令和3年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 3,112 人  
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去10年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1

#### <学力検査得点状況に見られる傾向>

- 国語** 基本的な言語事項を問う問題から、筆者の考えを的確に読み取る問題や、根拠を明確にして自分の考えを表現する問題など幅広く出題した。言語事項を問う問題においては、問題によって正答率に大きな差が見られた。論理の展開や表現を分析的に捉える問題および与えられた条件に従って的確に表現する問題の正答率が低かったが、場面や状況の理解に関する問題は正答率が高く、平均点は昨年度よりやや上がった。
- 社会** 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念を理解し、それらを活用し課題を探究する問題や様々な資料から考察に必要な情報を読み取り活用する問題を出題した。様々な資料やグラフを読み取り活用する問題の正答率が高かった。一方、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けて説明したり、総合的に判断したりする問題の正答率が低かった。知識や概念を問う問題や資料等を読み取り活用する問題の正答率が高く、平均点については、昨年より大幅に上がった。
- 数学** 数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、根拠を持って数学的な表現を用いて説明する問題及び事象の本質を捉え、式やグラフなど数学的に表現する問題を出題した。基本的な計算や単純に数値を求める問題は正答率が高かった。また、根拠をもって説明する問題と作図問題では、例年より正答率が高かった。しかし、条件を正確に把握し、日常生活にみられる事象を数理的に考察し、式やグラフなど数学的に表現する問題は、正答率が低かったため、平均点については、昨年より下がった。
- 理科** 基礎的・基本的な知識の理解度を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り、それをもとに考察(計算も含む)する問題など幅広く出題した。基本的な語句等の正答率が高かった半面、実験結果から目的に応じて、必要な情報を抽出してグラフに表したり、そのグラフを分析して計算したりする問題や、実験結果をもとに実験を改良する問題の正答率が低かったことにより、平均点は昨年度並みとなった。
- 英語** 「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。求める情報を表現通り聞き取ったり読み取ったりする問題の正答率は高かったが、情報を必要な条件にあわせて、思考・判断して表現することが求められる問題での正答率は低かった。この傾向は昨年と変わらず、平均点もほぼ同じとなった。

## 2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

得点		教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～	2	1	0	15	1	1
3	～	4	1	1	32	16	20
5	～	6	8	4	48	28	41
7	～	8	16	8	64	51	89
9	～	10	38	15	68	70	113
11	～	12	32	27	104	111	113
13	～	14	56	34	124	133	114
15	～	16	96	51	166	163	136
17	～	18	111	49	199	196	124
19	～	20	148	58	200	185	99
21	～	22	173	78	249	208	135
23	～	24	194	118	272	220	121
25	～	26	252	125	263	210	131
27	～	28	271	128	264	155	157
29	～	30	299	150	236	175	162
31	～	32	284	170	226	160	165
33	～	34	284	212	161	168	186
35	～	36	237	244	129	154	215
37	～	38	225	269	117	153	210
39	～	40	165	262	81	153	218
41	～	42	115	308	39	136	219
43	～	44	65	320	30	109	159
45	～	46	29	266	15	76	129
47	～	48	11	171	9	51	46
49	～	50	1	44	1	30	9
受検者数			3,112	3,112	3,112	3,112	3,112

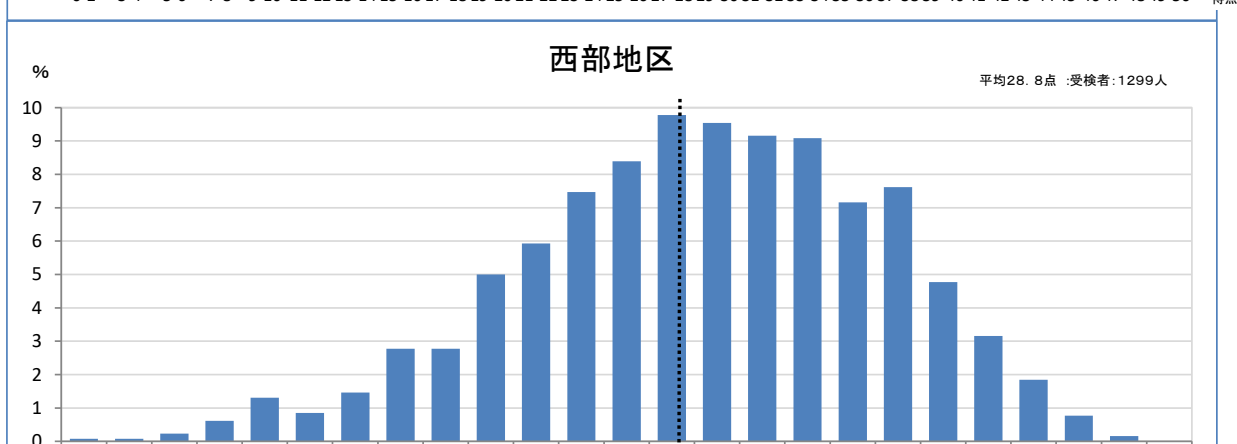
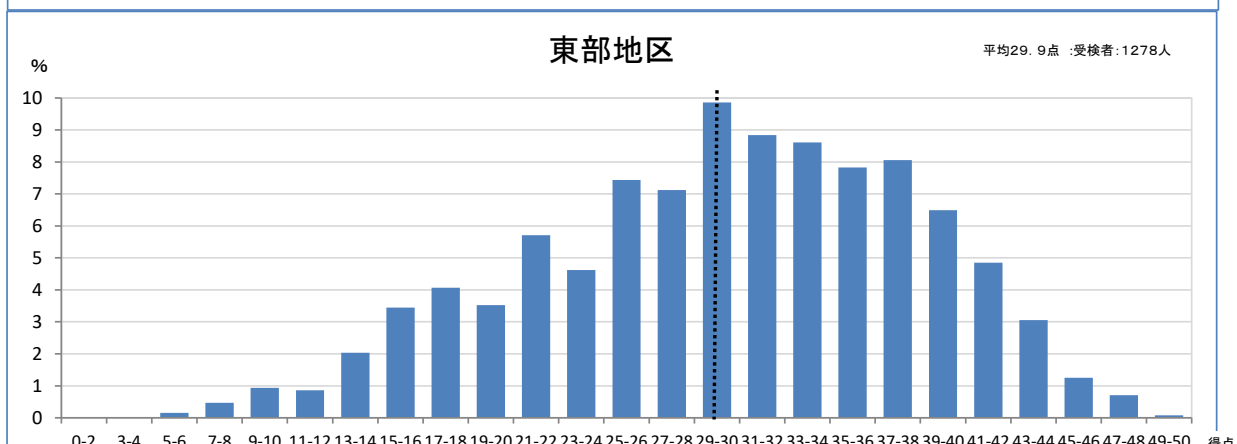
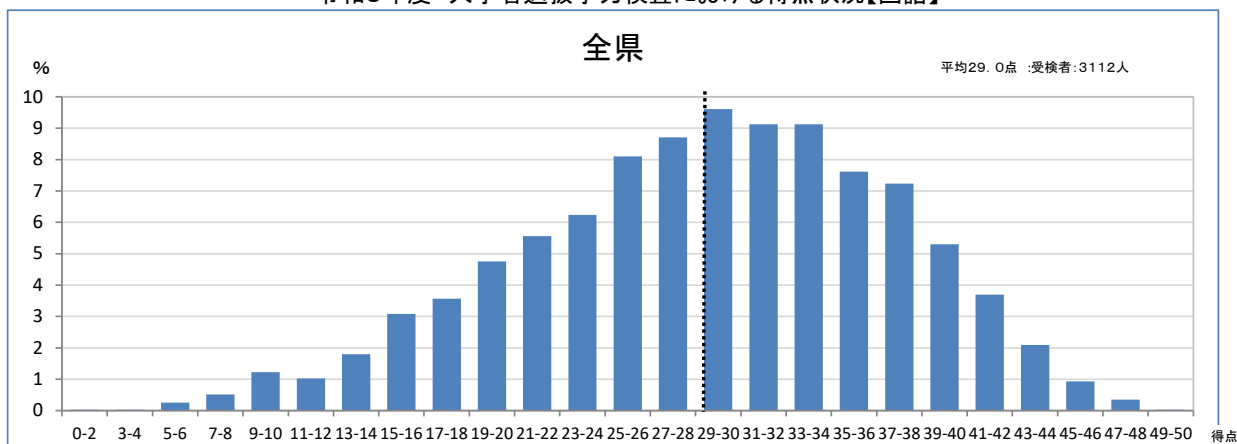
(人)

【総得点における度数分布】

総得点	人数
0	0
5	0
10	0
15	0
20	1
25	2
30	3
35	4
40	12
45	14
50	15
55	27
60	30
65	28
70	40
75	51
80	69
85	59
90	82
95	61
100	78
105	80
110	96
115	89
120	93
125	95

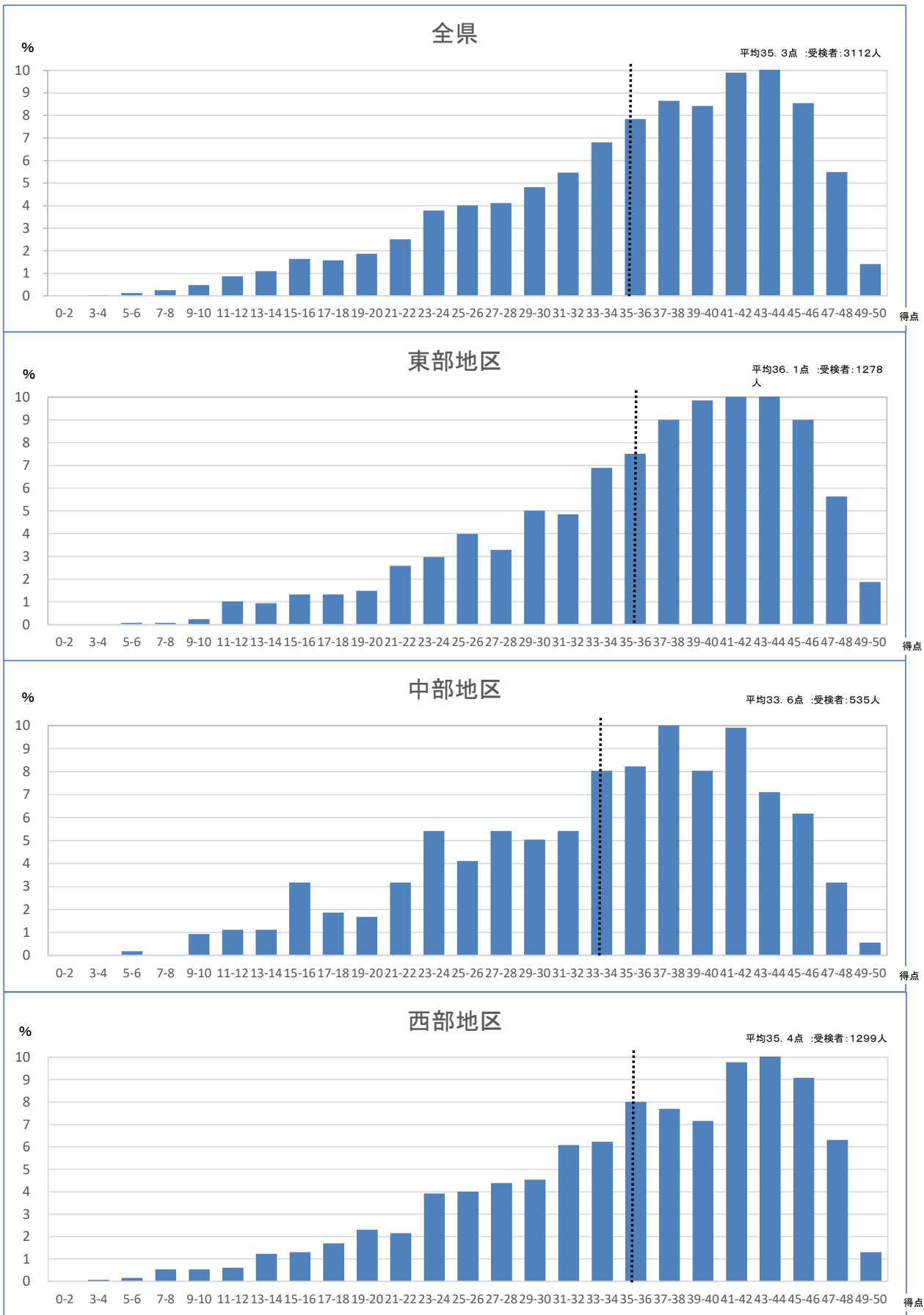
総得点	人数
126	117
130	116
135	112
140	109
145	132
150	124
155	128
160	110
165	128
170	111
175	122
180	138
185	126
190	115
195	107
200	88
205	76
210	50
215	38
220	19
225	7
230	10
235	0
240	0
245	0
250	0
受検者数	3,112

令和3年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



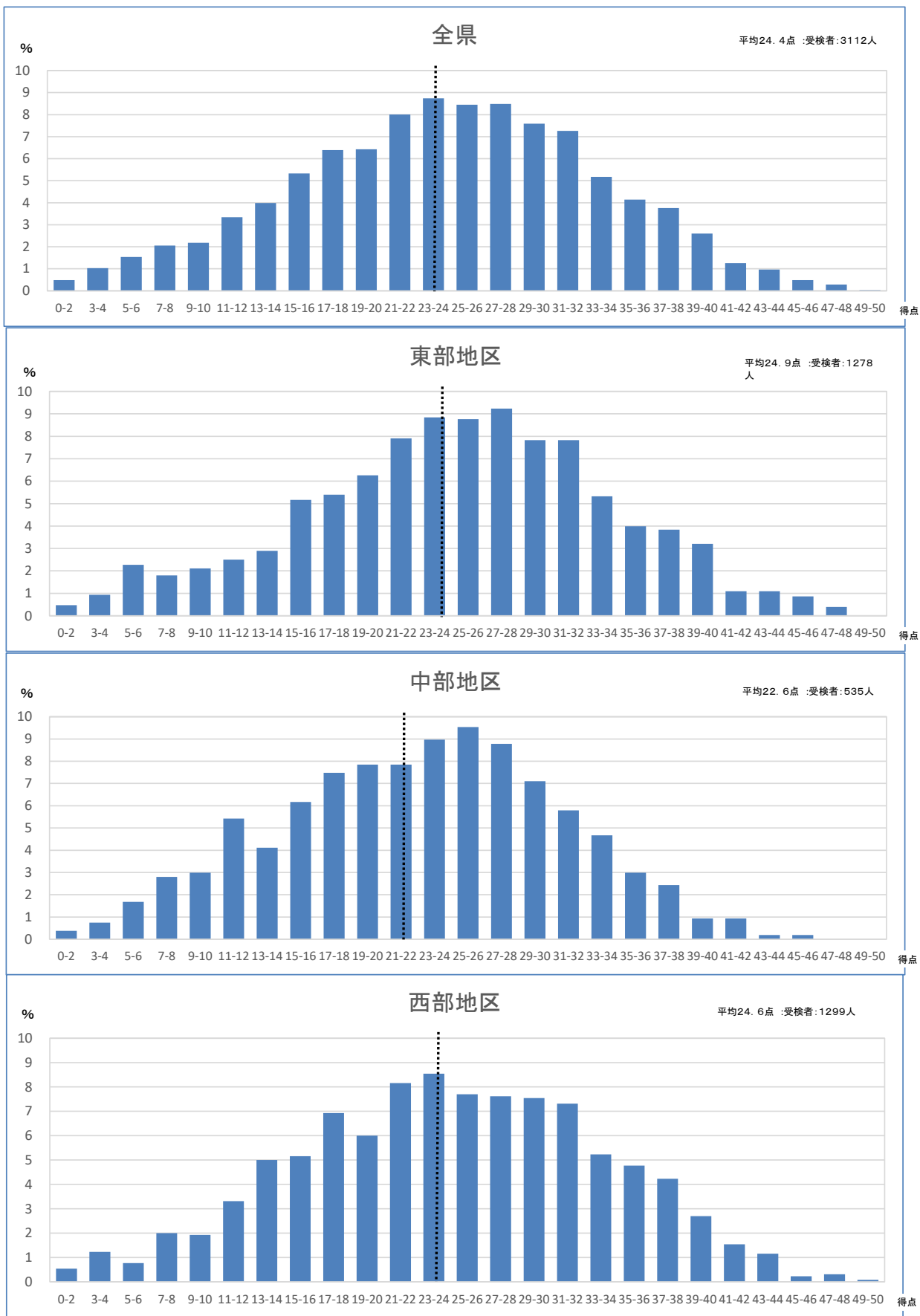
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和3年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



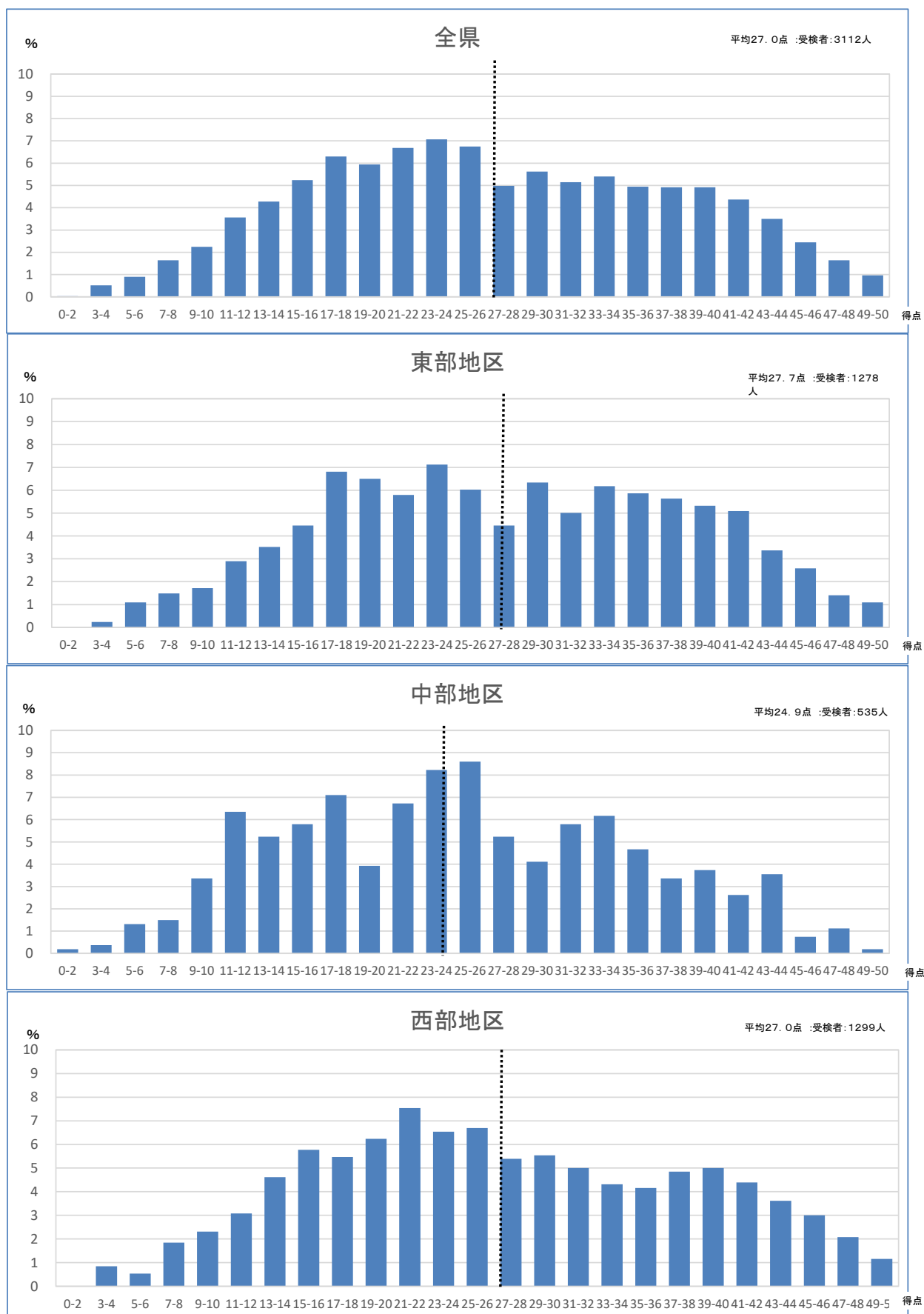
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和3年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

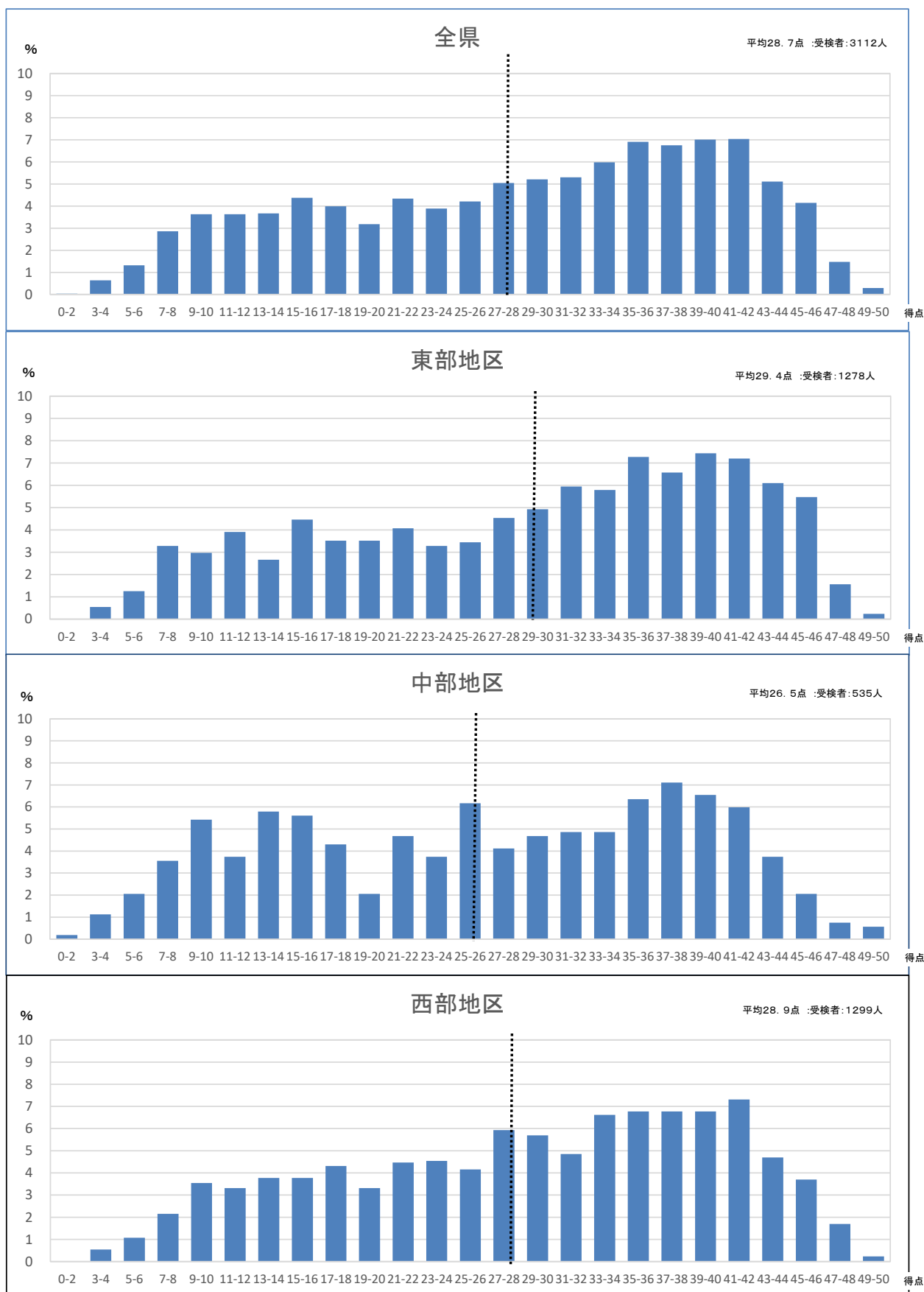
令和3年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

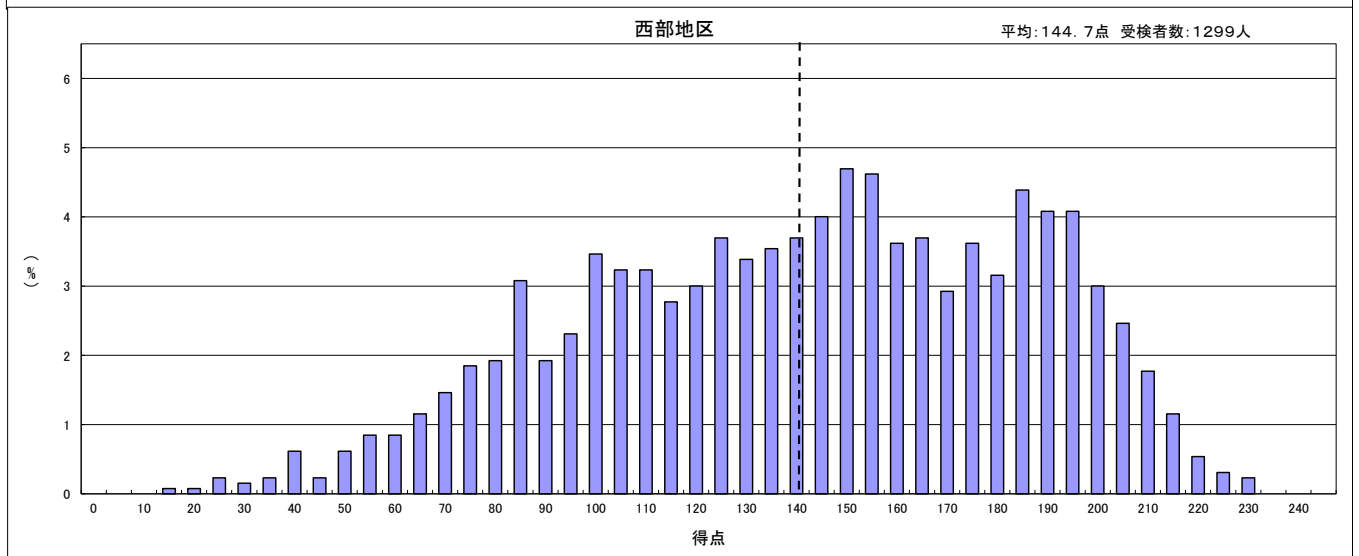
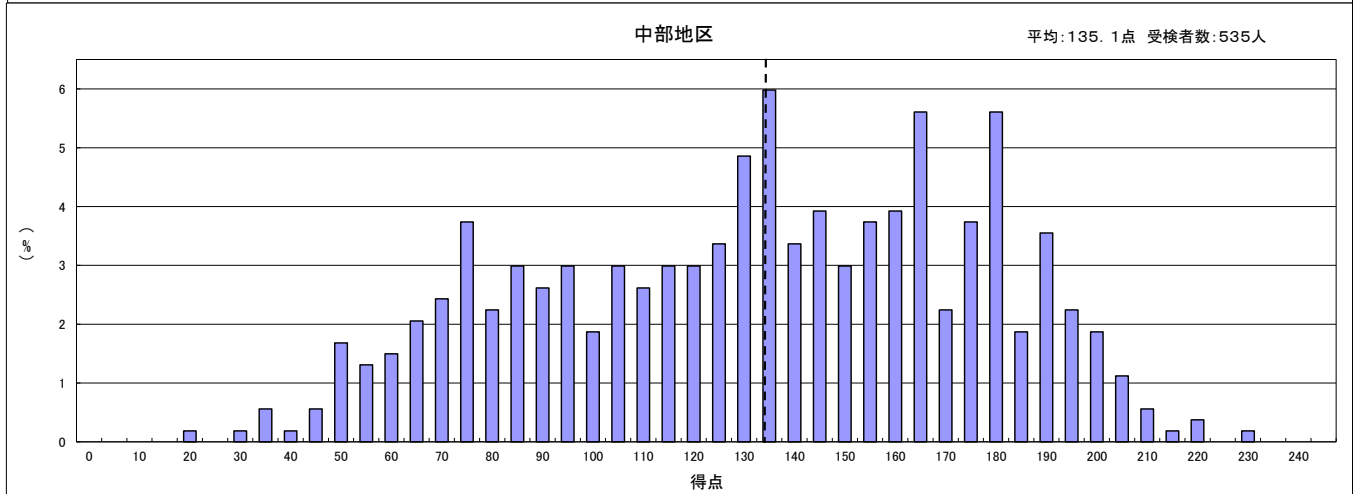
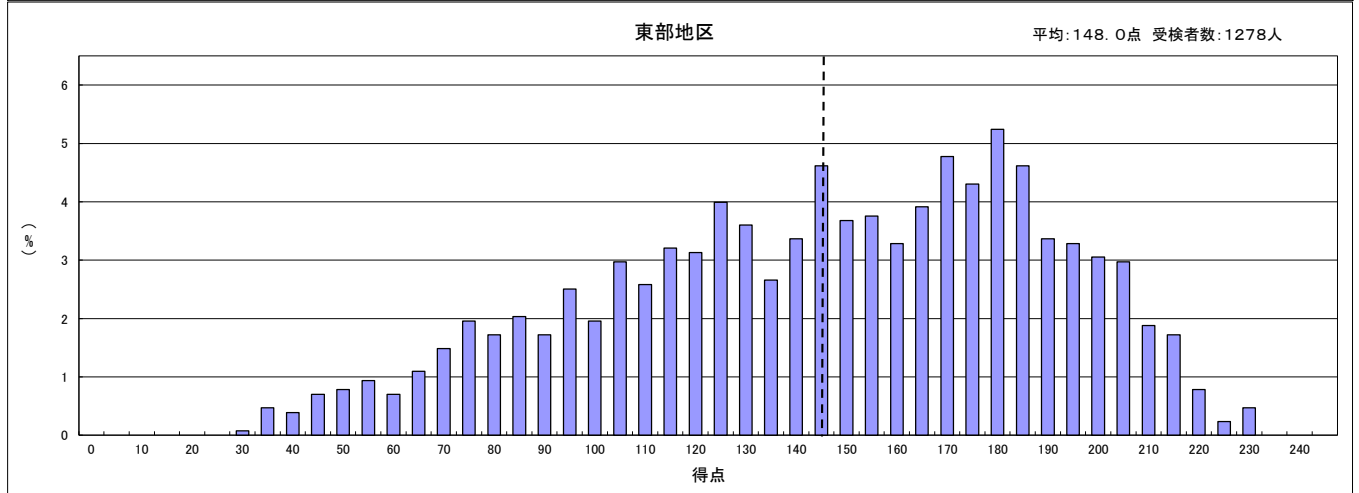
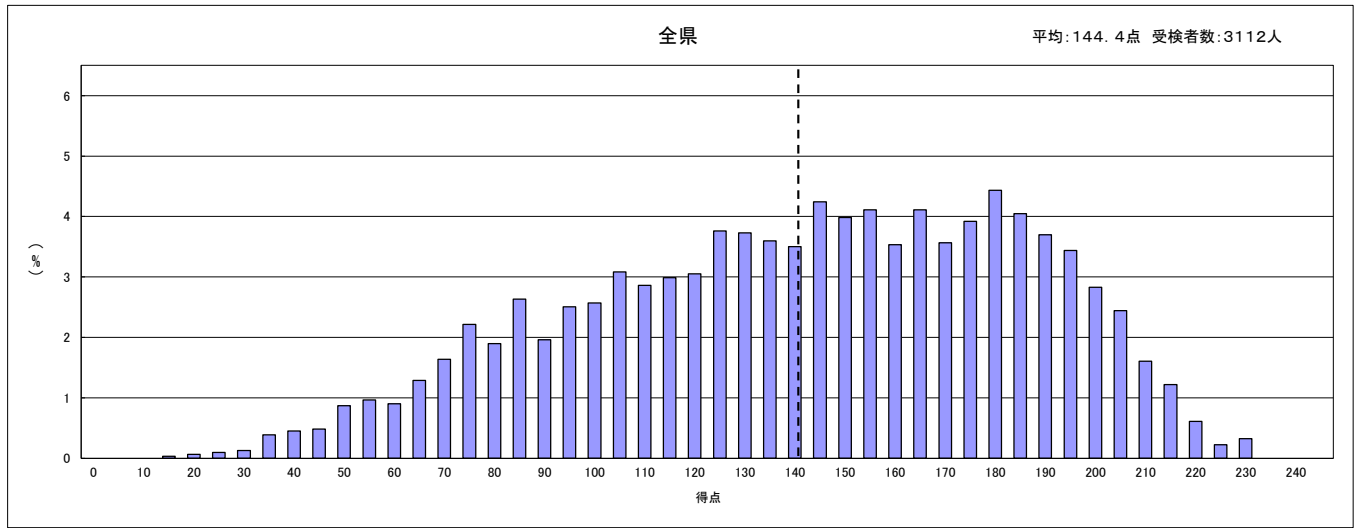


## 令和3年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

# 令和3年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和 3 年度 鳥 取 県 立 高 等 学 校  
入 学 者 選 拔 学 力 検 査 分 析

鳥 取 県 教 育 委 員 会

## 《 考 察 》

### 【 国 語 】

国語については、基本的な言語事項を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。言語事項を問う問題においては、漢字の読みに関する問題の正答率は高かったが、送り仮名を含めて漢字を正しく書く問題や、書写、熟語、文法等の知識を問う問題の正答率は低かった。読解や表現に関する問題においては、場面や状況の理解に関する問題は正答率が高く、文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉え、条件に従ってまとめる問題の正答率が低かった。古文に関する問題においては、文脈を理解した上で答える問題の正答率が低かった。作文においては、資料から必要な情報を読み取り、自分の考えを条件に従って適切な文章にまとめる力が不足していることがうかがえた。日頃の学習において、漢字や語句、文法等の言語事項について、一層の定着を図るとともに、文章の構成や展開、表現の仕方に注意して筆者のものの見方・考え方を的確に読み取る力を育成する必要がある。また、物事を分析的に捉え、情報を精査して、的確で説得力のある文章を書く学習活動を取り入れたい。

### 【 社 会 】

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念を理解し、それらを活用し課題を探究する問題や様々な資料から考察に必要な情報を読み取り活用する問題を出題した。様々な資料やグラフを読み取り活用する問題の正答率が高かった。一方、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けて説明したり、総合的に判断したりする問題の正答率が低かった。三分野ともに、基礎的・基本的な知識や概念の理解、様々な資料やグラフを読み取る技能は身に付いている。一方、既習の知識を関連付けて考察し、表現することが課題になっていると考えられる。引き続き、現代社会の動向に関心を持たせるとともに、小学校からの学び等を踏まえながら、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念、技能を身に付け、それらを活用して課題を探究する力を身に付ける授業づくりをすることが重要である。

### 【 数 学 】

数学については、基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、根拠を持って数学的な表現を用いて説明する問題及び事象の本質を捉え、式やグラフなど数学的に表現する問題を出題した。基本的な計算や単純に数値を求める問題は正答率が高かった。また、根拠をもって説明する問題と作図問題では、例年より正答率が高く、学習の成果がうかがえる。しかし、条件を正確に把握し、日常生活にみられる事象を数理的に考察し、式やグラフなど数学的に表現したりする問題は、正答率が低かった。このことから、基礎となる事項のより一層の定着を図るとともに、事象の構造に着目させる指導や、様々な事象を数理的に考察し、表現したり処理したりする能力を高める指導を、さらに充実させることが重要である。

### 【 理 科 】

理科については、基礎的・基本的な知識を問う問題から、実験・観察の結果や問題文中の条件を読み取り考察する問題を出題した。重要語句や基本的な知識を問う問題は昨年同様正答率が高く、無答率が低かった。しかし、実験結果から必要な情報を抽出してグラフに表す問題や、表やグラフから規則性や法則性を見いだす問題、仮説と異なる実験結果が得られた時に実験を改良する問題では、正答率が低かった。授業において、自然の事物や現象の仕組みを考えるとときに、日常生活と関連付けたり、モデル等を使って互いに説明し合ったりするなど、生徒自らが課題を解決する中で本質を深く理解していくような指導の工夫が必要である。また、見通しを持って実験・観察を計画したり、結果を表やグラフに表して分析・考察したり、実験・観察を改良したりするような科学的に探究する活動を重視した授業を実施し、科学的な思考力・判断力・表現力の育成を目指した指導の工夫が必要である。

### 【 英 語 】

英語については「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話やまとまりのある文章を題材に出題した。求める情報を直接的に聞き取ったり読み取ったりする問題の正答率は高かったが、得られた情報を求められている条件にあわせて編集したり、思考・判断しながら表現したりして解答する問題での正答率は低かった。今後は、話し手や書き手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成しながら、得られる情報を組み合わせ考察し、適切に表現する力（発信力）を育成する指導の充実が必要である。あわせて、生徒が「見方・考え方」を働かせながら、既習の知識を活用して適切にやりとりすることができるよう、目的・場面・状況が明確な言語活動を積極的に取り入れることが重要である。

## 《 国 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身についているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 論理的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて、その理解力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、基礎的・基本的事項についての知識を問う問題構成とした。漢字の読みに関する問題の正答率は高く、中学校での学習指導の定着がうかがえた。一方、送り仮名を含めて漢字を正しく書く問題や、書写、熟語、品詞の知識を問う問題の正答率は低かった。基本的な語句や文法等について、正しく理解・定着させることが必要である。
- 2 問題二は、文学的文章からの出題とし、場面や心情を的確に読み取る力を問う問題構成とした。場面や状況の理解に関する問題は正答率が高かったが、主題について根拠を明確にしながらかかりやすく説明する問題の正答率は低かった。比喩表現や登場人物の描写に注意して主題を読み取るとともに、それを与えられた条件に従って表現する力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的文章からの出題とし、内容を理解する力を問う問題構成とした。文章の構成や展開、表現の仕方を分析的に捉える問題や、筆者の考えを的確に読み取り、条件に従ってまとめる問題の正答率が低かった。日頃の学習の中で、論理的な文章に多く触れ、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力を育成する必要がある。
- 4 問題四は、古文の基本的な知識や内容を理解する力を問う問題構成とした。歴史的仮名遣いの問題は正答率が高かったが、文脈を理解した上で答える問題は正答率が低かった。日頃の学習において、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典により一層親しむ態度を育てたい。
- 5 問題五は、地域活性化についてのパネルディスカッションの場면을題材にして、話すこと・聞くことに関する知識や、与えられた条件に従って的確に表現する力を問う問題構成とした。目的や場面に応じて、話すこと・聞くことに関する知識を問う問題は正答率が高かった。日頃の学習でも、実際に言葉を通じて伝え合う活動を積極的に取り入れたい。一方、資料から必要な情報を読み取り、自分の考えを条件に従って適切な文章にまとめる力が不足していることがうかがえた。日頃から、物事を分析的に捉え、情報を精査して、的確で説得力のある文章を書く学習活動を取り入れたい。

## 《 社 会 》

### 【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方や考え方が身に付いているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とした。問1(2)《EU域内共通の通貨》、問2(1)《モノカルチャー経済》等の正答率が高く、基礎的・基本的な知識は身に付いている。また、問2(2)《アフリカの産業と課題》、問3(2)②《日本の各地方の農業》等の正答率が8割を超え、資料やグラフ、表を読み取る技能は身に付いている。一方、問3(1)①《北海道の歴史や自然を生かした観光業》の正答率が5割を下回り、歴史的分野や公民的分野での既習事項と関連付けて、考察する力に課題が見られる。また、問3(3)①《地下調整池の役割》の正答率が伸びず、複数の資料と防災等の日常生活での体験をもとに、地域的特色を考察し、表現する力に課題が見られる。今後も、現代社会の動向に関心を持たせながら、地域的特色について、他分野の知識や概念と関連付けて総合的に捉える力や、様々な資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることが重要である。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とした。問1(2)《十七条の憲法》、問1(5)《太閤検地と土地制度》、問2(7)①《戦後に活躍した人物とその作品》等の正答率が高く、小学校での学習も含め、各時代における基礎的・基本的な知識は身に付いている。また、問1(6)《江戸時代の百姓一揆》の正答率が7割を超え、グラフを読み取る技能は身に付いている。一方、問1(1)《日本の時代区分》、問2(2)《江戸時代末と同時代の世界の出来事》、問2(7)②《戦後の日本と世界のできごと》の正答率が伸びず、日本の歴史の大きな流れや、各時代の特色を世界の歴史と関連付けて理解することに課題が見られる。また、問2(3)《日清戦争と日露戦争》、(5)《世界恐慌が日本に与えた影響》の正答率が3割と低く、複数の資料から、歴史的事象の背景等を考察し、表現することに課題が見られる。今後も、年表や資料を活用しながら、我が国の歴史の大きな流れを理解する学習を重視するとともに、各時代の特色を世界の歴史と関連付けて多面的・多角的に考察する等、社会的事象の歴史的な見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問1(1)《対立と合意、効率と公正》の正答率が高く、現代社会を捉えるための見方・考え方である対立と合意、効率と公正について、十分な理解が見られる。また、問1(2)《鳥取県の人口、世帯数、家族構成の推移》、問1(3)《日本を含む各国の高齢化》の正答率は8割を超え、様々な資料やグラフから事実を正確にとらえ、適切に表現する力が身に付いている。一方、問2(3)《日本銀行の役割》、問3(4)《内閣総理大臣の指名までの流れ》の正答率が伸びず、基礎的・基本的な知識や概念を関連付けて、図や表で表現することに課題が見られる。今後も、現代社会の特色や日本の政治、経済の基本的なしくみを理解するだけでなく、現代の社会的事象を、今日の生活とのかかわりの中で考えて判断し、表現する力を身に付けることが重要である。
- 4 「社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念を理解し、それらを活用し課題を探究する」問題や「様々な資料から考察に必要な情報を読み取り活用する」問題を出题した。三分野ともに、基礎的・基本的な知識や概念の理解、様々な資料やグラフを読み取る技能は身に付いている。一方、知識や概念を関連付けて説明したり、総合的に判断したりする力について課題が見られる。引き続き、現代社会の動向に関心を持たせるとともに、小学校からの学び等を踏まえながら、社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念、技能を身に付け、それらを活用して課題を探究する力を身に付ける授業づくりをすることが重要である。

## 《 数 学 》

### 【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身につけているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方や考え方を活用して、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力を問う問題を出題した。問4までは概ね正答率が高く良好な結果であった。分数を含む一次方程式を解く問題については正答率が42%と低かった。確率を使って説明する問題では、無回答率は低いが、説明文としては課題が見られた。全体として、概ね基礎的な力がついている。
- 2 問題2は、身近な場面をとりあげ、全体の傾向を把握するために表やグラフに整理し、課題を解決する力を問う問題とした。問1、問2は共に正答率が高く良好であった。問3では、用語の正確な読み取りに課題が見られた。
- 3 問題3は、立体を題材とし、変化の様子から規則性を見出し、課題を解決する力を問う問題とした。キ、ク、ケの正答率は60%前後であり、操作の回数と、辺の数、頂点の数、面の数との関係を表等に整理する力に課題が見られた。変化の様子を対応関係に着目し、表や式に表す等の力の育成が引き続き重要である。
- 4 問題4は、身近な場面をとりあげ、条件から立式し、課題を解決する力を問う問題とした。条件を正確に把握し、立式する力に課題が見られた。問1では、入れかわり時間の正確な回数が式に反映されていない解答が多く、正答率は29%であった。与えられた条件から立式する力の育成が引き続き重要である。
- 5 問題5は、図形を題材とし、数学的な見方や考え方を活用して対象を論理的に考察し、課題を解決する力を問う問題とした。問2の証明は正答率も高く良好な結果であった。問3、問4については正答率が低かった。このことから、着目する図形を変えながら、既習の内容や図形の性質を利用する力と見通しのつかない課題にも粘り強く取り組む力の育成が引き続き重要である。
- 6 問題6は、身近な場面をとりあげ、事象を論理的に考察し、処理する力を問う問題とした。問1の正答率は34%で、流れ込む水の量を捉えることができていない解答が目立った。時間と部屋の中へ流れ込む水の量には関数関係があることに気づき、関係性を数式化する力の育成が引き続き重要である。

## 《 理 科 》

### 【出題の基本方針】

- 1 自然の事物や現象について、基礎的・基本的事項を理解し、知識が身につけているかをみる。
- 2 自然の事物や現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身につけているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物や現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。観察の基本的な技能に加えて、光合成の仕組みについて科学的な見方や考え方が身につけているかをみる問題である。問4（1）の光合成にともなう二酸化炭素の出入りを調べる実験の方法を問う問題では正答率が80.8%と高かった。見通しを持って実験を計画する力が身につけてきていることがうかがえる。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。炭酸水素ナトリウムから気体を発生させる実験を通して、結果を作図し、総合的に考察する力をみる問題である。問4（2）の炭酸水素ナトリウムと過不足なく反応する塩酸の体積を計算する問題では正答率が27.1%と低かった。目的に応じて実験結果から必要な情報を抽出して正しく処理したり、表やグラフから規則性や法則性を見いだしたりする力を育成する指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、物理分野に関する出題とした。電熱線に電流を流した時の発熱量について調べ、実験結果から規則性・法則性を見いだす力をみる問題である。問4の水の上昇温度と電流を流した時間との関係をグラフに表す問題では、正答率が7.3%と低かった。条件を変えた時の結果を推測して仮説を立て、見通しを持って実験を行い、結果を比較して科学的に考察する力を育成する指導の工夫が必要である。
- 4 問題4は、地学分野に関する出題とした。季節による太陽の動きの観測を通して、科学的な見方や考え方が身につけているかをみる問題である。問1の夏至の日の太陽の動きと、日の出、日の入りの時刻を問う問題では正答率が85.9%、問4（1）の地球の日周運動について問う問題では正答率が84.2%と高く、太陽や地球の動きについての基本的な知識の定着がみられた。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。血管と血液の流れについて基礎的・基本的事項を理解し、知識が身につけているかをみる問題である。重要語句を問う問題では正答率が高く、基本的事項の定着がみられたが、問1（2）のヘモグロビンが酸素と結びつくヒメダカの器官を問う問題では正答率が31.6%と低く、「肺」という誤答が24.8%あった。血液循環の特徴を呼吸の仕方と関連付けて考える等、生徒が学んだことを結び付けて理解を深めるような指導の工夫が必要である。
- 6 問題6は、物理分野に関する出題とした。凸レンズを用いた簡易型カメラの実験を通して、身近な自然の事物や現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる問題である。問3の簡易型カメラを改良する問題では正答率が14.7%と低かった。仮説と異なる実験結果が得られた時に、新たな仮説を設定して実験を改良していくような探究の過程を、生徒が主体的に行えるような指導の工夫が必要である。
- 7 問題7は、化学分野に関する出題とした。塩化銅水溶液に電流を通したときの変化を調べる実験を通して、科学的な見方や考え方が身につけているかをみる問題である。問3の塩化銅の電離のようすを化学式とイオン式を使って表す問題の正答率は33.3%、問5の塩素を分子のモデルで表す問題の正答率は25.4%と低かった。実験結果についてモデル等を使って化学変化の仕組みを説明し合い、理解を深めるような指導の工夫が必要である。
- 8 問題8は、地学分野に関する出題とした。空気中の水蒸気と空気の湿度についての実験を通して、身近な自然への興味関心をみる問題である。問3の部屋の温度を変えたときの露点と空気の湿度を答える問題では正答率が36.2%と低かった。学んだことと日常生活との関連を図り、身近な事物や現象に興味・関心を持たせる指導の工夫が必要である。



## 《 英 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身につけているかをみる。
- 2 短い英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を理解したり、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常的话题について、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 まとまりのある英文を読んで、本文や対話の流れを理解したり、必要な情報を正確に読み取ったりする力をみる。
- 5 物語文やスピーチ原稿を読んで、本文の展開や、登場人物の考えや気持ちなどを正確に読み取る力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1の「聞くこと」に関する問題では、求められる情報を直接的に聞き取る問題とまとまった英文を聞き取って概要を把握する問題の正答率は高かったが、聞き取った情報をもとに条件に合わせて英語で表現する問題の正答率は低かった。普段の授業において、話し手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成するとともに、聞き取った情報をもとに思考・判断しながらやりとりしたり、書いたりするといった言語活動の充実が必要である。
- 2 問題2の基礎的な会話表現や語彙及び文法運用に関する問題では、日常的な場面で用いる会話表現等を問う問題の正答率は上がったが、身につけている語彙や文法の知識を場面や状況に応じて適切に運用することに課題がみられた。基本的な会話表現、語彙及び文法事項については、身近な場面設定による授業中の言語活動を通して、それらを4技能全ての領域において活用できる力をつけておくことが必要である。
- 3 問題3は、場面や話者の意図に応じた表現の運用力と、読み取った英文の内容をふまえて自分の意見や考えを理由とともに英語で述べる表現力（テーマ作文）をみた。英文の内容と問いかけを的確にとらえ、問われている内容に対して、自分の意見や考えを具体的に英語で表現する力に課題がみられた。普段の授業において、目的・場面・状況を意識した技能統合型の言語活動を設定し、話の内容や書き手の意見などを主体的にとらえ、既習の知識を活用して自分の意見や考えを理由とともに読み手に正しく伝わるように発信する力を育成することが必要である。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、プラスチックごみに関する環境問題を題材に、中学生と留学生との会話（グラフを含む）とスピーチの内容をもとにした読解問題を出題し、述べてある事柄や情報を正確に読み取る力をみた。英文の内容をもとにグラフの国名を答える設問では、正確に情報が読み取れており、高い正答率であった。また、スピーチの空欄にあてはまる最も適切な英文を選ぶ設問の正答率も高く、文脈を正確に読み取る力があることが伺える。しかし、英文の内容とグラフから得られる情報をもとに書き手が伝えたいことを判断する問題では課題が見られた。普段の授業において、英文と図やグラフなど複数の情報から書き手の意向を正確に理解し、根拠を明らかにしながらやりとりしたり自分の意見を書いたりするなど、情報を適切に活用することをふまえた言語活動の充実が求められる。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、けがや病気でピアノが弾けなくなった二人が一緒にピアノを演奏し、音楽家としての道を歩んでいく物語を題材に、本文の展開や登場人物の心情を、主体的な読解をとおして理解する力をみた。本文の内容をもとに、登場人物の心情を表す英語を書いたり適切な日本語を選んだりする設問、また本文の内容を表すイラストを選ぶ設問では高い正答率であったが、文章全体の主旨をふまえて、求められる条件に沿って、英語で適切に表現する力などに課題がみられた。授業において、書き手の意向を主体的に理解しようとする態度を育成しながら、述べられている事柄を読み取って的確に理解する力とともに、読んで理解したことをもとに自分の考えを適切に表現する力の育成が必要である。

令和3年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：177）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率			
問題一	問一	(1)	漢字の読み	記述	144	81.4%	0	0.0%	29	16.4%	4	2.3%	
		(2)	漢字の読み	記述	146	82.5%	0	0.0%	29	16.4%	2	1.1%	
		(3)	漢字の書き	記述	111	62.7%	0	0.0%	38	21.5%	28	15.8%	
		(4)	漢字の書き	記述	91	51.4%	0	0.0%	60	33.9%	26	14.7%	
	問二	書写の知識	記号	99	55.9%	0	0.0%	77	43.5%	1	0.6%		
	問三	語句の知識	記号	61	34.5%	0	0.0%	116	65.5%	0	0.0%		
	問四	(1)	文法の知識		64	36.2%	0	0.0%	112	63.3%	1	0.6%	
		(2)	文法の知識	記号	96	54.2%	0	0.0%	80	45.2%	1	0.6%	
	問五	(1)	漢文の知識	記号	131	74.0%	0	0.0%	44	24.9%	2	1.1%	
		(2)	語句の知識	記号	132	74.6%	0	0.0%	44	24.9%	1	0.6%	
問題二	問一	内容の理解	記号	110	62.1%	0	0.0%	67	37.9%	0	0.0%		
	問二	内容の知識	記号	149	84.2%	0	0.0%	28	15.8%	0	0.0%		
	問三	内容の理解	記号	157	88.7%	0	0.0%	18	10.2%	2	1.1%		
	問四	内容の理解	記述	71	40.1%	46	26.0%	49	27.7%	11	6.2%		
	問五	内容の理解	記述	30	16.9%	99	55.9%	37	20.9%	11	6.2%		
	問六	内容の理解	記号	125	70.6%	0	0.0%	51	28.8%	1	0.6%		
問題三	問一	内容の理解	記号	146	82.5%	0	0.0%	30	16.9%	1	0.6%		
	問二	内容の理解	記号	89	50.3%	0	0.0%	88	49.7%	0	0.0%		
	問三	表現の理解	記号	94	53.1%	0	0.0%	82	46.3%	1	0.6%		
	問四	内容の理解	記述	74	41.8%	1	0.6%	54	30.5%	48	27.1%		
	問五	(1)	A	内容の理解	記述	104	58.8%	0	0.0%	52	29.4%	21	11.9%
			B	内容の理解	記述	5	2.8%	72	40.7%	55	31.1%	45	25.4%
(2)	内容の理解	記述	6	3.4%	68	38.4%	43	24.3%	60	33.9%			
問題四	問一	歴史的仮名遣い	記号	165	93.2%	0	0.0%	9	5.1%	3	1.7%		
	問二	内容の理解	記号	119	67.2%	0	0.0%	54	30.5%	4	2.3%		
	問三	内容の理解	記号	106	59.9%	0	0.0%	64	36.2%	7	4.0%		
	問四	内容の理解	記号	62	35.0%	0	0.0%	105	59.3%	10	5.6%		
問題五	問一	敬語の知識	記号	134	75.7%	0	0.0%	38	21.5%	5	2.8%		
	問二	文脈の理解	記号	166	93.8%	0	0.0%	6	3.4%	5	2.8%		
	問三	内容の理解	記号	140	79.1%	0	0.0%	32	18.1%	5	2.8%		
	問四	内容の理解	記号	146	82.5%	0	0.0%	23	13.0%	8	4.5%		
	問五	目的に応じた表現	記述	14	7.9%	113	63.8%	37	20.9%	13	7.3%		

令和3年度 鳥取県立高等学校入学選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】(答案数:177)

		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率
問題1	問1	1 時差	記号選択	148	83.6%	0	0.0%	29	16.4%	0	0.0%
		2 EU域内共通の通貨	語句記述	176	99.4%	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%
		3 世界各国の人口、人口密度、産業	記号選択	138	78.0%	0	0.0%	38	21.5%	1	0.6%
		4 世界の宗教	記号選択	146	82.5%	0	0.0%	30	16.9%	1	0.6%
	問2	1 モノカルチャー経済	語句記述	157	88.7%	0	0.0%	12	6.8%	8	4.5%
		2 アフリカの産業と課題	記号選択	156	88.1%	0	0.0%	21	11.9%	0	0.0%
	問3	1① 北海道の歴史や自然を生かした観光業	並べ替え	77	43.5%	0	0.0%	100	56.5%	0	0.0%
		1② 排他的経済水域と日本の領域	記号選択	129	72.9%	0	0.0%	48	27.1%	0	0.0%
		2① 地場産業	語句記述	141	79.7%	0	0.0%	26	14.7%	10	5.6%
		2② 日本の各地方の農業	記号選択	172	97.2%	0	0.0%	5	2.8%	0	0.0%
		2③ 日本の各地方の産業	記号選択	103	58.2%	0	0.0%	74	41.8%	0	0.0%
		3① 地下調整池の役割	説明	104	58.8%	19	10.7%	43	24.3%	11	6.2%
		3② 災害への対応	記号選択	162	91.5%	0	0.0%	15	8.5%	0	0.0%
地理的分野				1809	78.6%	19	0.8%	442	19.2%	31	1.3%
問題2	問1	1 日本の時代区分	記号選択	91	51.4%	0	0.0%	86	48.6%	0	0.0%
		2 十七条の憲法	記号選択	131	74.0%	0	0.0%	46	26.0%	0	0.0%
		3 風土記	語句記述	80	45.2%	0	0.0%	77	43.5%	20	11.3%
		4 鎌倉時代と同時代の世界のできごと	記号選択	131	74.0%	0	0.0%	46	26.0%	0	0.0%
		5 太閤検地と土地制度	記号選択	128	72.3%	0	0.0%	49	27.7%	0	0.0%
		6 江戸時代の百姓一揆	記号選択	139	78.5%	0	0.0%	38	21.5%	0	0.0%
	問2	1 アヘン戦争が日本に与えた影響	語句記述	118	66.7%	0	0.0%	56	31.6%	3	1.7%
			記号選択								
		2 江戸時代末と同時代の世界のできごと	記号選択	63	35.6%	0	0.0%	113	63.8%	1	0.6%
		3 日清戦争と日露戦争	説明	57	32.2%	39.5	22.3%	62.5	35.3%	18	10.2%
		4 民本主義	語句記述	91	51.4%	0	0.0%	64	36.2%	22	12.4%
		5 世界恐慌が日本に与えた影響	説明	52	29.4%	11	6.2%	83	46.9%	31	17.5%
		6 戦後の世界のできごと	記号選択	136	76.8%	0	0.0%	41	23.2%	0	0.0%
7① 戦後に活躍した人物とその作品	記号選択	154	87.0%	0	0.0%	22	12.4%	1	0.6%		
7② 戦後の日本と世界のできごと	並べ替え	49	27.7%	0	0.0%	127	71.8%	1	0.6%		
歴史的分野				1420	57.3%	50.5	2.0%	911	36.7%	97	3.9%
問題3	問1	1 対立と合意、効率と公正	記号選択	161	91.0%	0	0.0%	16	9.0%	0	0.0%
		2 鳥取県の人口、世帯数、家族構成の推移	記号選択	171	96.6%	0	0.0%	6	3.4%	0	0.0%
		3 日本を含む各国の高齢化	記号選択	145	81.9%	0	0.0%	31	17.5%	1	0.6%
		4 ワーク・ライフ・バランス	記号選択	162	91.5%	0	0.0%	14	7.9%	1	0.6%
	問2	1 企業の生産活動	語句記述	153	86.4%	0.5	0.3%	16.5	9.3%	7	4.0%
		2 景気変動と物価の変化	記号選択	139	78.5%	0	0.0%	37	20.9%	1	0.6%
		3 日本銀行の役割	記号選択	95	53.7%	0	0.0%	80	45.2%	2	1.1%
		4 地方と都市の財政	記号選択	135	76.3%	0	0.0%	40	22.6%	2	1.1%
	問3	1 ワイマール憲法	語句記述	163	92.1%	0	0.0%	5	2.8%	9	5.1%
		2 自由権	記号選択	143	80.8%	0	0.0%	31	17.5%	3	1.7%
		3 労働基本権	記号選択	157	88.7%	0	0.0%	17	9.6%	3	1.7%
		4E 内閣総理大臣の指名までの流れ	語句記述	106	59.9%	0	0.0%	61	34.5%	10	5.6%
		4F 内閣総理大臣の指名までの流れ	語句記述	92	52.0%	0	0.0%	65	36.7%	20	11.3%
		5 衆議院の優越	説明	111	62.7%	15.5	8.8%	29.5	16.7%	21	11.9%
市民的分野				1933	78.0%	16	0.6%	449	18.1%	80	3.2%
合計				5162	71.1%	85.5	1.2%	1802	24.8%	208	2.9%

令和3年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：177）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	175	98.9%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%
		(2) 分数の計算（負の数の積）	計算	167	94.4%	0	0.0%	10	5.6%	0	0.0%
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	149	84.2%	0	0.0%	25	14.1%	3	1.7%
		(4) 多項式の計算（差）	計算	161	91.0%	0	0.0%	16	9.0%	0	0.0%
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	125	70.6%	0	0.0%	51	28.8%	1	0.6%
	問2	多項式の計算（乗法）	計算	140	79.1%	0	0.0%	34	19.2%	3	1.7%
	問3	式の値	計算	158	89.3%	0	0.0%	17	9.6%	2	1.1%
	問4	因数分解	計算	149	84.2%	0	0.0%	24	13.6%	4	2.3%
	問5	一次方程式	計算	74	41.8%	0	0.0%	87	49.2%	16	9.0%
	問6	二次方程式の解の公式	計算	138	78.0%	0	0.0%	32	18.1%	7	4.0%
	問7	体積	計算	60	33.9%	0	0.0%	89	50.3%	28	15.8%
	問8	(1) 関数 $y=ax^2$	計算	145	81.9%	0	0.0%	24	13.6%	8	4.5%
		(2) 関数 $y=ax^2$ の変域	計算	96	54.2%	0	0.0%	68	38.4%	13	7.3%
問9	確率	記号・記述	107	60.5%	51	28.8%	13	7.3%	6	3.4%	
問10	作図	作図	115	65.0%	1	0.6%	37	20.9%	24	13.6%	
問題2	問1	データの読み取り	読み取り	157	88.7%	0	0.0%	17	9.6%	3	1.7%
		ヒストグラム	作図	146	82.5%	0	0.0%	20	11.3%	11	6.2%
	問2	最頻値の読み取り	読み取り	148	83.6%	0	0.0%	24	13.6%	5	2.8%
問3	資料の読み取り	選択	35	19.8%	0	0.0%	140	79.1%	2	1.1%	
問題3	ア～ウ	立体の辺、頂点、面	計算	163	92.1%	0	0.0%	13	7.3%	1	0.6%
	エ～カ	数量の変化	計算	124	70.1%	0	0.0%	52	29.4%	1	0.6%
	キ	辺の変化の規則性	計算	99	55.9%	0	0.0%	72	40.7%	6	3.4%
	ク	頂点の変化の規則性	計算	107	60.5%	0	0.0%	64	36.2%	6	3.4%
	ケ	面の変化の規則性	計算	114	64.4%	0	0.0%	57	32.2%	6	3.4%
問題4	問1	一次式の立式	立式	52	29.4%	0	0.0%	109	61.6%	16	9.0%
	問2	一次方程式	計算	47	26.6%	0	0.0%	112	63.3%	18	10.2%
	問3	(1) 連立方程式の立式	立式	38	21.5%	32	18.1%	35	19.8%	72	40.7%
		(2) 連立方程式の解	計算	32	18.1%	0	0.0%	53	29.9%	92	52.0%
問題5	問1	面積	計算	42	23.7%	0	0.0%	96	54.2%	39	22.0%
	問2	1 円周角の定理	記号	151	85.3%	0	0.0%	20	11.3%	6	3.4%
		2 角の性質	記号	133	75.1%	0	0.0%	36	20.3%	8	4.5%
		3 三角形の合同条件	記述	107	60.5%	0	0.0%	44	24.9%	26	14.7%
	問3	四角形の周の長さ	計算	32	18.1%	0	0.0%	55	31.1%	90	50.8%
問4	面積	計算	0	0.0%	0	0.0%	54	30.5%	123	69.5%	
問題6	問1	変化と対応	計算	60	33.9%	0	0.0%	77	43.5%	40	22.6%
	問2	変化と対応	選択	37	20.9%	0	0.0%	96	54.2%	44	24.9%
	問3	(1) 一次関数のグラフ	グラフ	4	2.3%	16	9.0%	62	35.0%	95	53.7%
(2) 一次関数と一次方程式		計算	9	5.1%	0	0.0%	61	34.5%	107	60.5%	

令和3年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】（答案数：177）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	ルーペの正しい使い方	選択 記号選択	138	78.0%	0	0.0%	39	22.0%	0	0.0%	
	問2	合弁花類	選択 記号選択	55	31.1%	0	0.0%	122	68.9%	0	0.0%	
	問3	蒸散	記述 語句	166	93.8%	0	0.0%	9	5.1%	2	1.1%	
	問4	(1)	気体の出入りを調べる実験方法	選択 記号選択	143	80.8%	0	0.0%	34	19.2%	0	0.0%
		(2)	光合成と呼吸との気体量の関係	選択 記号選択	144	81.4%	0	0.0%	33	18.6%	0	0.0%
問題2	問1	ガラス管を水そうからぬく理由	記述 説明	118	66.7%	0	0.0%	52	29.4%	7	4.0%	
	問2	気体を発生させる必要な条件	記述 説明	140	79.1%	0	0.0%	27	15.3%	10	5.6%	
	問3	二酸化炭素が発生する操作	選択 記号選択	95	53.7%	0	0.0%	80	45.2%	2	1.1%	
	問4	(1)	炭酸水素ナトリウムと発生した気体のグラフ	記述 作図	74	41.8%	0	0.0%	92	52.0%	11	6.2%
		(2)	すべて反応させる塩酸の体積の計算	記述 計算	48	27.1%	0	0.0%	94	53.1%	35	19.8%
問題3	問1	オームの法則	記述 語句	143	80.8%	0	0.0%	28	15.8%	6	3.4%	
	問2	電流の流れやすさと電力の大きさの関係	選択 記号選択	124	70.1%	0	0.0%	52	29.4%	1	0.6%	
	問3	電熱線の発熱量の計算	記述 計算	80	45.2%	0	0.0%	81	45.8%	16	9.0%	
	問4	水の上昇温度と時間とのグラフ	記述 作図	13	7.3%	0	0.0%	133	75.1%	31	17.5%	
	問5	並列回路と直列回路の発熱量の比較	選択 並べ替え	32	18.1%	0	0.0%	138	78.0%	7	4.0%	
問題4	問1	太陽の動きと、日の出、日の入りの時刻	選択 記号選択	152	85.9%	0	0.0%	24	13.6%	1	0.6%	
	問2	南中高度等が変化する理由	記述 説明	89	50.3%	3	1.7%	75	42.4%	10	5.6%	
	問3	影の長さの判断	選択 記号選択	91	51.4%	0	0.0%	83	46.9%	3	1.7%	
	問4	(1)	地球の自転	選択 記号選択	149	84.2%	0	0.0%	26	14.7%	2	1.1%
		(2)	日の出の時刻の計算	記述 計算	52	29.4%	0	0.0%	98	55.4%	27	15.3%
問題5	問1	(1)	ヘモグロビン	記述 語句	154	87.0%	0	0.0%	14	7.9%	9	5.1%
		(2)	魚類の呼吸器官	記述 語句	56	31.6%	0	0.0%	106	59.9%	15	8.5%
	問2	血小板	記述 その他	106	59.9%	0	0.0%	69	39.0%	2	1.1%	
	問3	血液の種類と血液が入る心臓の部屋	選択 記号選択	100	56.5%	0	0.0%	76	42.9%	1	0.6%	
	問4	柔毛から毛細血管に入る物質	選択 記号選択	110	62.1%	0	0.0%	67	37.9%	0	0.0%	
	問5	尿素が少ない血管	選択 記号選択	102	57.6%	0	0.0%	73	41.2%	2	1.1%	
問題6	問1	凸レンズを通過した後の道すじの作図	記述 作図	153	86.4%	0	0.0%	21	11.9%	3	1.7%	
	問2	(1)	スクリーンの位置	記述 その他	80	45.2%	0	0.0%	88	49.7%	9	5.1%
		(2)	実像	記述 語句	148	83.6%	0	0.0%	27	15.3%	2	1.1%
	問3	スクリーンにはっきりした像を映す方法	選択 記号選択	26	14.7%	0	0.0%	148	83.6%	3	1.7%	
	問4	凸レンズの下半分を隠したときの像	選択 記号選択	59	33.3%	0	0.0%	115	65.0%	3	1.7%	
問題7	問1	ろ紙を硝酸カリウムで湿らせる理由	記述 説明	119	67.2%	0	0.0%	40	22.6%	18	10.2%	
	問2	電解質	記述 語句	162	91.5%	0	0.0%	10	5.6%	5	2.8%	
	問3	塩化銅の電離を化学式とイオン式で表す	記述 化学式等	59	33.3%	8	4.5%	91	51.4%	19	10.7%	
	問4	銅原子が電気を帯びた理由	選択 記号選択	91	51.4%	0	0.0%	84	47.5%	2	1.1%	
	問5	塩素の分子モデル	記述 その他	45	25.4%	0	0.0%	92	52.0%	40	22.6%	
問題8	問1	金属製のコップを使う理由	記述 説明	131	74.0%	0	0.0%	41	23.2%	5	2.8%	
	問2	部屋の湿度の計算	記述 計算	83	46.9%	0	0.0%	67	37.9%	27	15.3%	
	問3	部屋の温度を変えたときの露点と湿度	選択 記号選択	64	36.2%	0	0.0%	112	63.3%	1	0.6%	
	問4	雲ができる仕組み	選択 記号選択	109	61.6%	0	0.0%	63	35.6%	5	2.8%	
	問5	水の循環を支えるエネルギー源	記述 語句	98	55.4%	0	0.0%	66	37.3%	13	7.3%	

令和3年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】（答案数：177）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	171	96.6%	0	0.0%	6	3.4%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	157	88.7%	0	0.0%	20	11.3%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	141	79.7%	0	0.0%	36	20.3%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	85	48.0%	0	0.0%	91	51.4%	1	0.6%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	46	26.0%	0	0.0%	131	74.0%	0	0.0%
	問3	まとまりのある対話の聞き取り		記号整序	136	76.8%	0	0.0%	41	23.2%	0	0.0%
	問4	Ques.1	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	37	20.9%	0	0.0%	104	58.8%	36	20.3%
		Ques.2	まとまりのある説明の聞き取り	単語補充	30	16.9%	0	0.0%	132	74.6%	15	8.5%
		Ques.3	まとまりのある説明の聞き取り	英文記述	45	25.4%	16	9.0%	66	37.3%	50	28.2%
問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	147	83.1%	0	0.0%	25	14.1%	5	2.8%
		No.2	対話文中の単語補充	単語補充	116	65.5%	0	0.0%	50	28.2%	11	6.2%
		No.3	対話文中の単語補充	単語補充	141	79.7%	0	0.0%	30	16.9%	6	3.4%
	問2	No.1	英文中の単語補充	記号選択	96	54.2%	0	0.0%	79	44.6%	2	1.1%
		No.2	英文中の単語補充	記号選択	142	80.2%	0	0.0%	35	19.8%	0	0.0%
	問3	対話中の語句整序作文		語句整序	113	63.8%	0	0.0%	61	34.5%	3	1.7%
問題3	問1	No.1	対話文完成(英文記述)	英文記述	79	44.6%	22	12.4%	59	33.3%	17	9.6%
		No.2	対話文完成(英文記述)	英文記述	63	35.6%	25	14.1%	63	35.6%	26	14.7%
	問2	テーマ英作文(意見と理由)		テーマ英作文	39	22.0%	170	40.1%	34	19.2%	33	18.6%
問題4	問1	・内容把握(英文選択)		記号選択	90	50.8%	0	0.0%	85	48.0%	2	1.1%
	問2	・内容把握(英語選択)		記号選択	158	89.3%	0	0.0%	19	10.7%	0	0.0%
	問3	・内容把握(英語補充)		単語補充	10	5.6%	0	0.0%	142	80.2%	25	14.1%
	問4	・内容把握(和文記述)		日本文記述	55	31.1%	45	25.4%	49	27.7%	28	15.8%
	問5	・内容把握(英文選択)		記号選択	120	67.8%	0	0.0%	57	32.2%	0	0.0%
	問6	・内容把握(英文選択)		記号選択	100	56.5%	0	0.0%	77	43.5%	0	0.0%
問題5	問1	・内容把握(英語補充)		単語補充	112	63.3%	0	0.0%	60	33.9%	5	2.8%
	問2	・内容把握(英文選択)		記号選択	104	58.8%	0	0.0%	73	41.2%	0	0.0%
	問3	・内容把握(和文選択)		記号選択	134	75.7%	0	0.0%	42	23.7%	1	0.6%
	問4	・内容把握(イラスト選択)		記号選択	115	65.0%	0	0.0%	61	34.5%	1	0.6%
	問5	・内容把握(和文記述)		日本文記述	72	40.7%	24	13.6%	45	25.4%	36	20.3%
	問6	・意見英作文(英語記述)		英文記述	34	19.2%	56	31.6%	55	31.1%	32	18.1%